

平成29年度第2回東大和市社会福祉法人地域公益活動連絡会 情報交換会報告

日時：平成29年10月16日（月）午後2時～3時30分

場所：東大和市社会福祉協議会第2会議室

出席法人：13法人

欠席法人：5法人

オブザーバー：東京都社会福祉協議会統括主任、東大和市福祉推進課課長

全法人を対象として実施した「東大和市社会福祉法人地域公益活動の取り組みに関するアンケート結果」（別紙①）をもとに、3グループに分かれ情報交換（40分間）を行い、その後、各グループでの意見をもとに全体での話し合い（40分間）を行いました。

東京都社会福祉協議会地域福祉部統括主任の小川氏より「他地区の地域公益活動の状況について」のご講演をいただいた後、東大和市において、今後地域公益活動を取り組み（現在の考え、今後取り組んでみたいことなど）について3グループに分かれ情報交換（40分間）を行いました。

■主な意見

- ・社会福祉法人の制度を守るため、法人が社会貢献のために何をしているかを明らかにすることが大切である。社会貢献の見える化が必要。
- ・社会福祉法人の規模も労力も財力も違うため、協力してできることをしていくことが大切である。
- ・人材不足の問題があるが、いくつかの法人が集まり協力すればできることがある。
- ・公益活動の主旨をもっと理解するための勉強会、他地区の状況を見に行くなどの方法も有効である。
- ・災害時に市民や近隣の方にサービス提供できることを整備する。
- ・災害時の対応について市と協定を結ぶ。
- ・東大和市の法人として身の丈にあった、ニーズに沿うことをしていくべき。一番大きな問題は、マンパワーと資金である。それについて今後検討してはどうか。
- ・高齢、障害、児童など業種ごとに話し合ってはどうか。

※裏面に写真を掲載しています。

連絡会の様子

